

国連憲章に違反するロシア軍はウクライナより撤退を 禁止条約を力に、日本政府に禁止条約の署名・批准を 5月6日（金）国民平和大行進（和歌山→広島コース）橋本市庁舎前から出発。



橋本市庁舎前
横断幕と宣伝カー



橋本市長のメッセージ
を代読する小原副



連帯挨拶の阪本市議



JR橋本駅の近くの通り横断幕



橋本市庁舎内
ウクライナ募金箱

5月6日5時20分、2022年国民平和大行進（和歌山→広島コース）橋本市庁舎前出発集会です。集会前、秘書広報課と議会事務局を訪問。市長と議長へ「第10回NPT再検討会議議長および締約国政府への要請」を手渡します。

集会は、橋本市職の窪田さんが進行。県実行委員会の主催者挨拶に続き、小原秀紀副市長が「ロシア連邦によるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を損なう暴挙であり、断じて許すことはできません。橋本市としても、核兵器のない、真に平和な世界にするために、皆様方とともにその実現を目指して努力して参りたい」と平木哲郎橋本市長のメッセージを紹介。小林宏橋本市会議長のメッセージも紹介されます。続いて、阪本久代市会議員より連帯挨拶。わかやま市民生協の小泉よしかさんは、ロシアの軍事侵攻に対し理事会として強く抗議、即時中止、撤退を求める声明を発表。ユニセフウクライナ緊急募金を組合員に呼びかけているとあいさつ。最後、集会アピールを読み上げて採択し、平和行進です。集会参加は40人です。行進宣伝カー先頭に、平和行進は市庁舎前からR24号線を通り、JR橋本駅で折り返して旧町並の東家（とうげ）通りを約50分歩きました。今日は、午前は九度山町、午後が高野町です。（事務局 里崎）